1 When you ask someone to draw a map of the world, you will find that few people have a very accurate idea of what the world looks like.

## 文法) 準否定語

few	数がほとんどない
little	量がほとんどない
hardly / scarcely	程度がほとんどない
rarely / seldom	頻度がほとんどない

I could hardly understand what he was saying. (私は彼の言っていることをほとんど理解できなかった。)

For a while we could scarcely see anything.(しばらくの間私たちはほとんど何も見えなかった。)

I rarely listen to classical music.(私はめったにクラッシック音楽を聴きません。)

She seldom reads books.(彼女はめったに読書をしません。)

文法) ask + O + to do 説明省略

文法) S+find+that 節 that 節が find の目的語になる。

訳)あなたが誰かに世界地図を書いてもらうように頼むと、世界がどのように見えるのか非常に正確な知識 を持った人々がほどんどいないことが分かるでしょう。

You might expect some errors in the positions of countries.

文法) 助動詞 may/might「~かもしれない」(推量)

may と might はほぼ同じ意味で使われることが多いが、might を使うと may よりもやや可能性が低いことを表すことができる。

訳) あなたは国の位置でいくつかの間違いを犯すかもしれません。

After all, this is a task that requires a certain skill with a pencil and a good memory.

単語) require **動**~を必要とする

certain 配(名詞の前で;a~)いくらかの、ある程度の

熟語)after all 結局(は)、やっぱり

訳)結局、これは鉛筆と良い記憶を使いある程度の技術を必要とする仕事(作業)です。

But nobody ever knows the relative size of continents!

文法) nobody は単数扱い

単語)ever 副(否定文で)(現在について)いつも(ふだん)は(~)

訳)しかし相対的な大陸の大きさを知っている人はふだんは誰もいません。

They tend to enlarge them or make  $\underline{\text{them}}_{(0)}$  smaller<sub>(0)</sub>, according to their point of view.

ポイント) they を見たら、「彼ら、それら」と考えるようにしましょう。どうしても「they = 彼ら」と決めつけがちです。この文では先頭の They は「彼ら」で、enlarge と make の目的語の them は「continents」で、後半の their は「彼らの」です。従って、むしろ「they = 彼ら、それら」と最初から考えておいたほうが良いでしょう。

文法) make + O + C 「O を C にする」(O=C が成り立つ)

単語)tend 動(不定詞を伴い)~しがちである、~する傾向がある

enlarge 動(物)を拡大する、大きくする、(言葉・理解など)を増やす、深める

en- 動詞を作る接頭辞 图形 に付いて、「~する」

e.g.) endanger「~を危険にさらす」、enable「~することを可能にする」

熟語) according to 「~によれば、~に応じて、~に従って」

point of view「視点、観点、立場、見方、意見、態度」※発音注意「ポイノビュー」

n の後ろの t が発音がされない(t が n に吸収される)ことがあります。またここでは後ろに o があることから、ここは no (ノ) と発音され、さらに、f と v は上の歯を下の唇に当てて、濁るか濁らないかの発音なので、これも別々に発音せず、ここでは v の発音がされるため、このような発音になります。

訳)彼らは自分たちの視点に応じて、大陸を大きくしたり、より小さくしたりする傾向があります。

For this reason, the home continent is often drawn too large.

訳) この理由のため、自国の大陸はよくとても大きく描かれます。

A Brazilian, for example, tends to enlarge the continent of South America, while a Vietnamese enlarges Asia.

訳) 例えば、ブラジル人は南アメリカ大陸を大きく描きがちである一方、ベトナム人はアジアを大きくします。

2 Another common error in hand-drawn maps is the tendency to make Europe too large and Africa too small.

訳)手描きの地図でもう一つあるよくある誤りは、ヨーロッパを大きく、アフリカを小さくする傾向にある ことです。

People from all parts of the world tend to draw the world this way, including the Africans!

訳)アフリカ人を含め、世界中の人々がこのように世界を描く傾向にあります。

There are several factors that may be involved here.

> involve 動 ~を含む、伴う、~に関連する、(人など)を巻き込む、かかわらせる、 (人)を参加させる、携わらせる。

訳)ここに関連しているかもしれないいくつかの要因があります。

One factor may be the influence of old maps made with the "Mercator projection."

文法) 分詞の後置修飾 説明省略

訳)1つの要因はメルカトル投影図法で作成された古い地図の影響かもしれません。

This technique for drawing maps makes  $\underline{\operatorname{areas}}_{(O)}$  nearer the North Pole $_{(C)}$ , including Europe, seem extra large. 文法) make  $+ O + C \cap \mathcal{P}$  にする」 (O=C が成り立つ)

Other areas in the middle, such as Africa, seem smaller than in reality.

熟語) such as 例えば

訳)例えばアフリカのような他の中央部の地域は、現実より小さく見えます。

However, the Mercator maps also enlarge Greenland and Canada, and people usually do not make mistakes about their size.

訳)しかし、メルカトル投影図法の地図はグリーンランドとカナダも大きくしていますが、人々はふつうはそれらの大きさについて間違いません。

Thus, a better explanation must lie in people's ideas about the relative importance of the continents.

単語)thus 副従って、それゆえに

熟語)lie in 

自(困難・理由・関心などが)(~に)ある、存在する

## 自動詞と他動詞

後ろに目的語がこない場合は自動詞、来る場合は他動詞です。多くの動詞は自動詞にも他動詞にも用いられます。残念ながらどちらで使われるかは辞書を使って確認する以外に方法はありません。

入試では、「自動詞か他動詞か?」ではなく、「前置詞を伴うか、伴わないか」が問われます。「discuss(~について話し合う、議論する)」には「about」は必要ないし、「marry(~と結婚する)」は「with」は必要ありません。「~に到着する」という意味の動詞に「reach」と「arrive at」がありますが、「reach」は前置詞は必要なく、「arrive」には前置詞が必要です。

私たちは駅に到着しました。

- 1) We reached the station.
- 2) We arrived at the staion.

訳)従って、より良い説明というのは、大陸の相対的重要性に関する人々の考えにあるに違いありません。

The size of Europe tends to be exaggerated because of its importance in people's minds.

文法)群前置詞「because of」2 語以上からなる語群が、1 つの前置詞と同じ働きをするものを「群前置詞」と言います。また、because of の後ろには句が、because の後ろには節が来ます。

※句と節:2 つ以上の語のまとまりが 1 つの品詞と同じ働きをして、その中に<u>主語+動詞がないものを句、</u> 語+動詞のあるものを節と言う。

単語)exaggerate **動**(人が)(事・物)を誇張する、大袈裟に言う

訳)ヨーロッパの大きさは、人々の関心においてその重要性のために誇張されがちです。

Similarly, Africa becomes smaller because people feel it is unimportant.

単語)similarly ■同様に、類似して(

differently 異なって、違うように)

訳)同様に、アフリカについて人々は重要ではないと感じているので、小さくなります。

[3] Ignorance about the African continent has led to some enormous errors in mapmaking.

enormous 形 (物・量が) 非常に多い、巨大な、莫大な

熟語)lead to「~に至らせる、~という結果になる、~をもたらす」

訳)アフリカに関する無知が、地図作成でいくつかの大きな誤りに至りました。

One of the errors now seems quite incredible.

単語)incredible 配信じられない、信じがたい、とてつもない、途方もない

訳) 誤りのうちの1つには今ではとても信じられないようなものがあります。

In the late eighteenth century, a European explorer reported seeing mountains in southern Mali.

訳) 18世紀後半に、ヨーロッパの探検家がマリの南部に山脈を見たと報告しました。

From that report, a mapmaker drew in a long line of mountains.

熟語)draw in「~を描き入れる」

訳) その報告書から、地図作成者は長い山脈を描き入れました。

As a result, these "Kong Mountains," as he called them, were drawn on almost all maps of Africa in the nineteenth century.

文法) as について 説明後述

熟語) as a result「その結果(として)」

訳)その結果、「コングマウンテン」、彼(探検家)がそう呼んだのですが、19 世紀のアフリカの地図のほぼ 全てに描かれました。

They seemed to be an important feature of the continental geography.

単語)feature 名同特徴、特色

continental 形大陸の、大陸的な、大陸性の

geography 图不地理学、地理、地形、配置

訳) それらはアフリカ大陸の重要な地理的特徴のようでした。

European politicians and traders made decisions based on their belief in the existence of these mountains.

単語)politician 名回政治家(politics 政治:単複両扱い)

existence 图图存在、実在、生存 動 exist 存在する、実在する、生存する、存続する

訳)ヨーロッパの政治家や貿易業者はこれらの山の存在を信用することに基づいて決定しました。

Finally, in the late 1880s, a French explorer proved that there were no mountains in that part of Africa.

訳) 最終的に、1880年代の後半に、フランス人探検家はアフリカのその地域に山がないことを証明しました。

After that discovery, the "Kong Mountains" disappeared from maps of Africa.

訳)その発見後、コングマウンテンはアフリカの地図から消えました。

as について

●接続詞(後ろに節がくる)

1.「~する時 /~するあいだ /~しながら」:「同時」を表す

Everyone stood up as the judge entered the courtroom. (裁判官が入廷する時、誰もが立ち上がった。)

2.「~につれて」:「比例」を表す

As time passed, a new discovery was made. (時が経つにつれて、新しい発見がなされた。)

3.「~(する)ように /~(する)とおりに」:「様態」を表す

I changed the code as you suggested, and now I don't receive the error messages.

(お勧めくださったようにコードを変えました。それで、今ではエラーメッセージを受け取りません。)

4.「~なので /~だから |: 「理由 | を表す

As it was getting dark, I didn't take any pictures. (暗くなってきたので、私は 1 枚も写真を撮らなかった。)

5.「~だけれども」:「譲歩」を表す<形容詞 + as + S + V > の語順にする

Young as he is, he is already running a company that designs airplanes.

(若いのだけれども、彼はもう飛行機を設計する会社を経営している。)

●前置詞(後ろに句がくる)

1.「~ (である) と」: <他動詞 + 目的語 + as ~>の形で補語を導く

Her father regards her as a genius. (父親は彼女が天才だと思っている。)

2.「~ として」

She works as a doctor at the hospital. (彼女はその病院で医者として働いている。)

As you know, he is the President of the United States. (ご存知のように、彼がアメリカ合衆国大統領です。)

As I mentioned, (申し上げた通り)、As I told you,(あなたに話した通り)、As you can see,(ご覧の通り)

3.「~の時に /~のころ」

As a child, he lived in Ireland. (子供の頃、彼はアイルランドに住んでいた。)